

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月26日	
千葉県知事 熊谷 俊 人 殿	
	提出者 千299-0266 住 所 千葉県袖ヶ浦市北袖1番地 氏 名 富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所 取締役常務執行役員製油所長 岩本 巧 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0438-63-7044
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖1番地
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 8303億円
③従業員数	389人(正社員306人、常勤関係社員83人)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり。

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全ての特別管理廃棄物を分別している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組を継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	429 t	t
	（これまでに実施した取組） 装置のpH調整で、廃ソーダを再利用している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	360 t	t
	（今後実施する予定の取組） 装置のpH調整で、廃ソーダを再利用する。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-----	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-----	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理を実施する計画はない。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-----	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-----	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分を実施する計画はない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

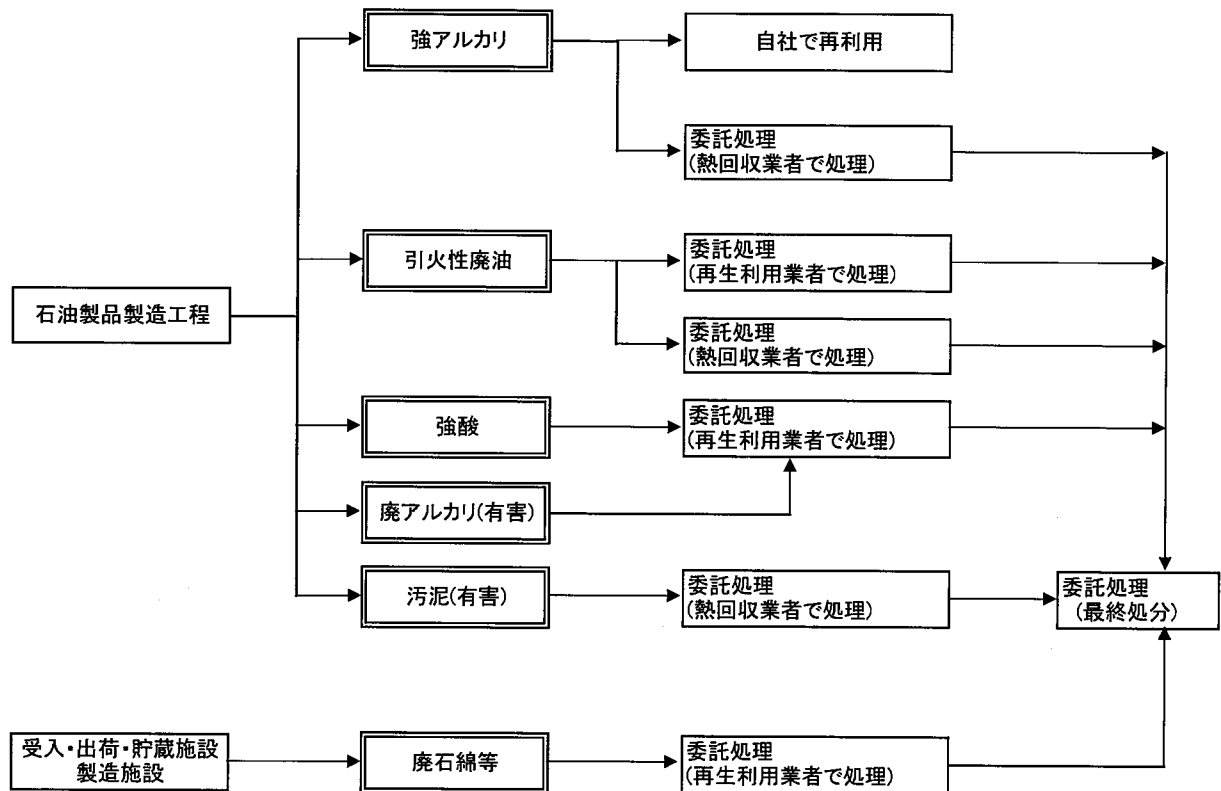
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	8915 t	
	(今後実施する予定の取組等) 電子情報処理組織(電子マニフェスト)使用している。		
※事務処理欄			

備考

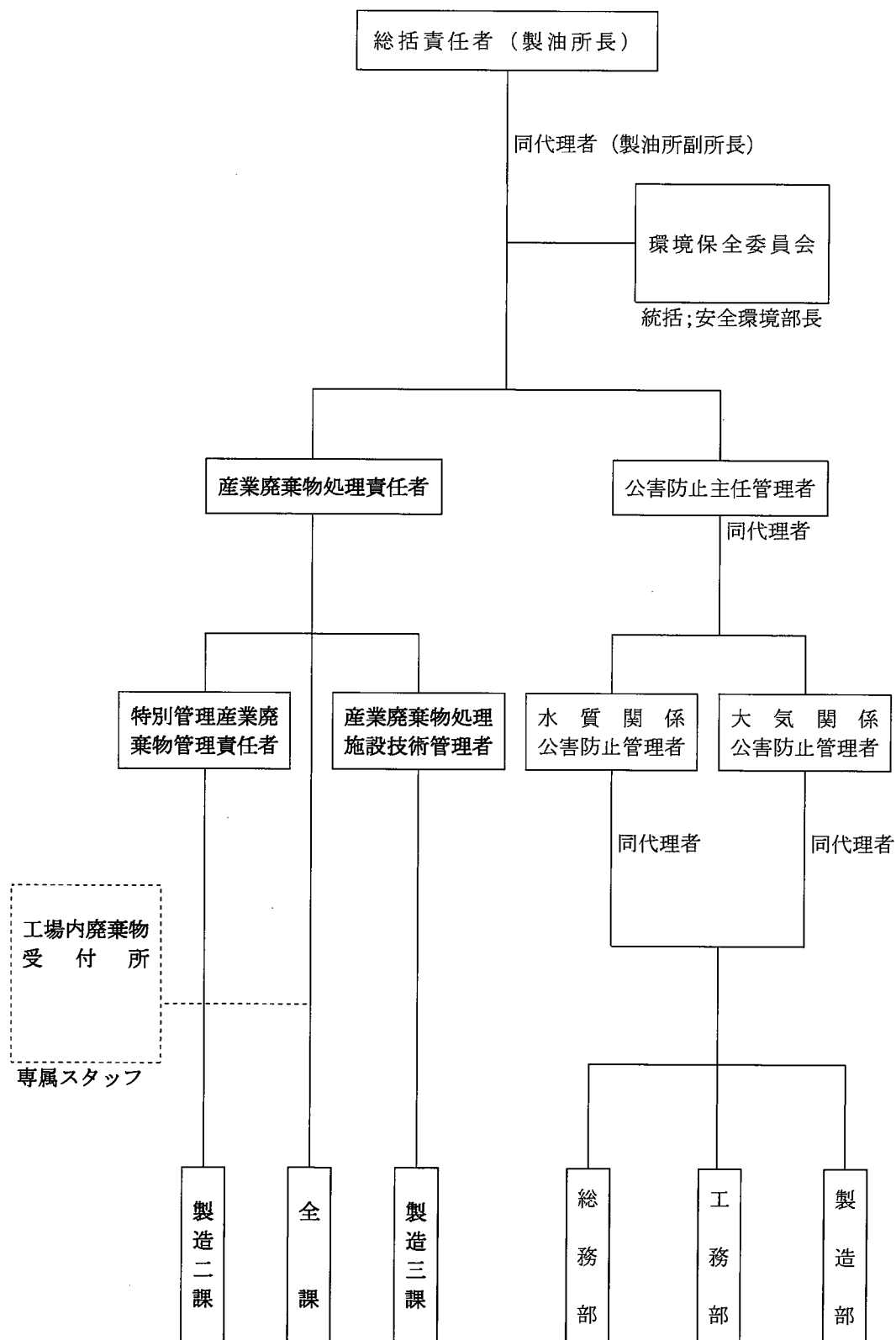
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

【 別紙1 】
処理工程図(特別管理産業廃棄物)



富士石油株式会社袖ヶ浦製油所

産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
		廃棄物の種類	引火性廃油		
		排出量	393 [t]		
		(これまでに実施した取組)			
		発生源となる貯槽の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。			
	②計画	【目標】			
		廃棄物の種類	引火性廃油		
		排出量	480 [t]		
		(今後実施する予定の取組)			
		上記取組を継続し発生の抑制に努める。			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
		廃棄物の種類	強酸	
		排出量	7528 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。		
	②計画	【目標】		
		廃棄物の種類	強酸	
		排出量	6000 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		今年度は定修年のため前年と比べ排出量は減少する。 上記取組を継続し抑制に努める。		

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
		廃棄物の種類	強アルカリ		
		排出量	910 [t]		
		(これまでに実施した取組)			
		装置の pH 調整で、廃ソーダを再利用している。 発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制し、処分委託を減量化している。			
	②計画	【目標】			
		廃棄物の種類	強アルカリ		
		排出量	860 [t]		
		(今後実施する予定の取組)			
		上記取組を継続する。			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
		廃棄物の種類	廃石綿等	
		排出量	5 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		石綿を含有する可能性がある設備機器類の廃保温材等に対して、組成分析を行い石綿の含有の有無を確認することにより、処分委託量を減量化している。		
	②計画	【目標】		
		廃棄物の種類	廃石綿等	
		排出量	1 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		装置運転部門での設備機器類の保温材取り外し(漏洩確認等)点検時にのみ極少量が発生する予定。		

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
		廃棄物の種類	汚泥(有害)	
		排出量	79 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		発生源となる装置の運転管理を強化することにより、当該廃棄物の発生を抑制(当該装置吸着材の交換頻度を低減)し、処分委託を減量化している。		
	②計画	【目標】		
		廃棄物の種類	汚泥(有害)	
		排出量	50 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		上記取組を継続する。		

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
	② 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
		廃棄物の種類	廃アルカリ(有害)		
		排出量	0 [t]		
		(これまでに実施した取組)			
	処理委託なし。				
	②計画	【目標】			
		廃棄物の種類	廃アルカリ(有害)		
		排出量	0 [t]		
		(今後実施する予定の取組)			
	今年度は処理委託予定なし。				

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	引火性廃油	
		全処理委託量	393 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	393 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	313 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	80 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		再生利用を行う業者、優良認定処理業者もしくは熱回収を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	引火性廃油	
		全処理委託量	480 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	480 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	380 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	100 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		可能な限り再生利用業者、優良認定処理業者もしくは熱回収業者へ処理委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	強酸	
		全処理委託量	7528 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	7528 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		再生利用を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	強酸	
		全処理委託量	6000 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	6000 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		可能な限り再生利用を行う業者へ処理委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	強アルカリ	
		全処理委託量	481 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	481 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	380 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	101 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		熱回収を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	強アルカリ	
		全処理委託量	500 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	500 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	400 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	100 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		可能な限り優良認定処理業者もしくは熱回収を行う業者へ委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	廃石綿等	
		全処理委託量	5 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	5 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	5 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		100%リサイクルを行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃石綿等	
		全処理委託量	1 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	1 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	1 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		可能な限り再生利用を行う業者へ処理委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	
		全処理委託量	79 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	79 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	79 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		熱回収を行う業者へ処理委託している。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	
		全処理委託量	50 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	50 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	50 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		可能な限り再生利用を行う業者もしくは熱回収業者へ処理委託する方針で検討する。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	② 現状	【前年度(令和 6 年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ(有害)	
		全処理委託量	0 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(これまでに実施した取組)		
		処理委託なし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ(有害)	
		全処理委託量	0 [t]	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 [t]	
		再生利用業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 [t]	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 [t]	
		(今後実施する予定の取組)		
		今年度は処理委託の予定なし。		